

第4回レイルウェイ・デザイナーズ・イブニング (RDE)

2018年12月6日 (木) 京都鉄道博物館 3階ホール



地域文化と 鉄道デザイン



photo-1

RDEフォーラム 2018 ----- 鉄道デザインの過去・現在・未来

鉄道デザインは、鉄道が地域に根ざしたものであるだけに、地域性という軸を考える必要がありますが、もう一つの軸に歴史があります。鉄道が現在の状況に至るには、先人たちの絶え間ない努力や技術の進歩、社会の変化があったと考えます。地域性とその歴史が重層し文化となり、デザインとして今にあるのです。第4回となるRDEフォーラムは、鉄道デザインの過去・現在・未来を体感できる「京都鉄道博物館」を舞台に、「地域文化とデザイン」をテーマに開催いたします。



RDE2018 in 京都鉄道博物館

photo-1,2 京都鉄道博物館提供

第1部 講演会／博物館見学会 参加費：¥2,000- (入場料+軽食)

11:30~16:00

- 基調講演 2
- 館内見学会
- テーマ講演 3

第2部 情報交流会 参加費：¥5,000-

16:00~17:30

- 懇親会／



総合司会：久野友美

主催：レイルウェイデザイナーズイブニング実行委員会、フジサンケイビジネスアイ

後援：(一社)日本鉄道車両工業会、(公社)日本インダストリアルデザイナー協会、(公社)日本サインデザイン協会